

インターネットの活用状況について

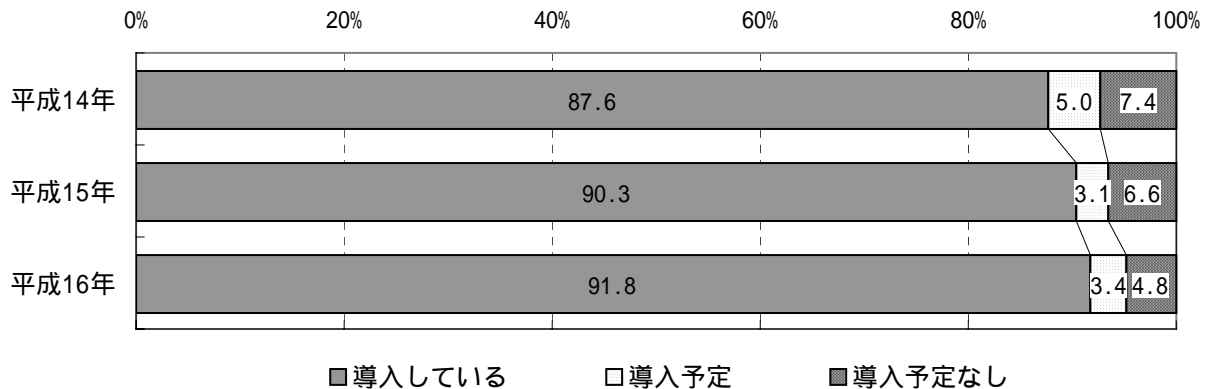
～ ネット利用率、ブロードバンド利用率が着実に増加～

はじめに

総務省の平成 15 年「通信利用動向調査」によれば、平成 15 年末の全国のインターネット利用者数は 7,730 万人となり人口普及率が 60.6% (対前年比 6.1 ポイント増) となり、事業所 (対象：従業員数 5 人以上 100 人未満) における普及率についても対前年比 3.5 ポイント増の 82.6% とさらに増えている。また、国家戦略として平成 13 年から始まった「e-Japan 戦略」の取組みを通じて、政府は世界最先端の IT 国家としていかに IT の基盤を活かし活用するかを重点計画に盛り込んでいる。企業活動を考える上でもインターネットの活用が重要と考えられる。そこで、県内企業のインターネット普及率やその活用方法等の利用動向について、過去の調査内容と比較しながら分析を行なった。

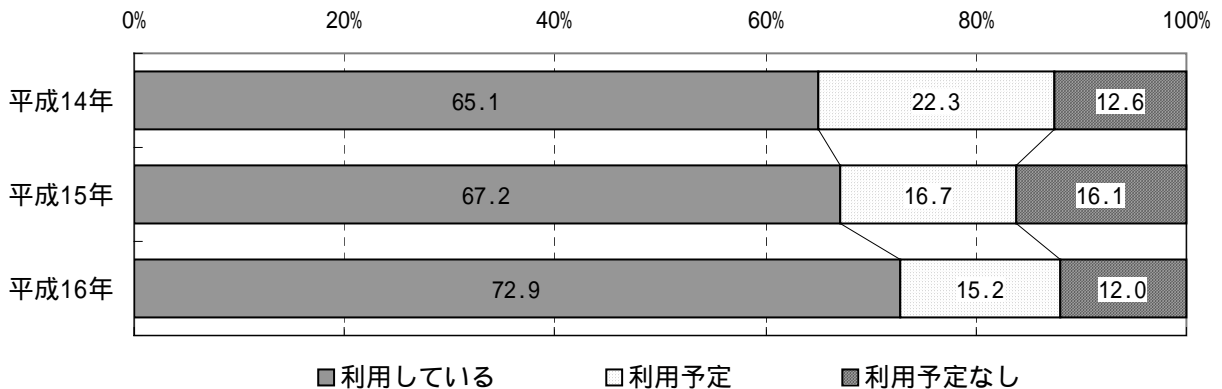
パソコン導入率

パソコンの導入については、「導入している」とした企業が前年比 1.5 ポイント増加し 91.8% となり、「導入予定なし」とする企業が 4.8% と前年比 2.2 ポイント減少した。パソコンの導入がさらに進んでいることがわかる。



インターネット利用率

インターネットを「利用している」とした企業は、全体で前年比 5.7 ポイント増加し 72.9% となり、本県においてもインターネットの利用率は年々増加している。しかしながら、上記の全国の普及率と比較すると、決して高い状況にあるとはいえない。



(%)

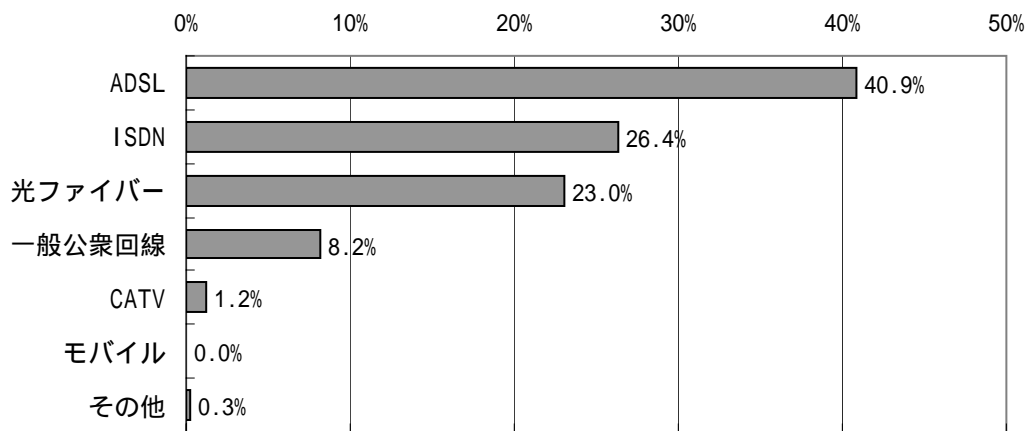
	利用している	導入予定	導入予定なし
建設業	69.6 (67.3)	17.9 (25.0)	12.5 (7.7)
製造業	76.3 (68.7)	12.4 (14.1)	11.3 (17.2)
商業	70.3 (65.0)	19.3 (19.7)	10.3 (15.3)
サービス業	74.1 (68.1)	12.4 (13.6)	13.5 (18.3)

産業別にみると、各産業とも約7割の企業がインターネットを利用しており、特に製造業の上げ幅が最も大きく前年調査時に比べ7.6ポイント増加した。

()内は平成15年調査結果

インターネットの接続手段

インターネットの接続手段については、「ADSL」を利用しているとした企業は昨年より6.7ポイント増の40.9%となっている。「ISDN」は26.4%と9.4ポイント減少し、「光ファイバー」が23.0%で8.8ポイント増加している。



インターネットの高速化という点では、ブロードバンド(注)利用企業が全体の65.3%を占めている。昨年に比べブロードバンド利用企業の割合が大幅に高くなっている。県内全域でナローバンドからブロードバンドへのシフトがかなり早く進んでいることがわかる。

	和歌山市内		和歌山市以外		県内全域	
	ブロードバンド	ナローバンド	ブロードバンド	ナローバンド	ブロードバンド	ナローバンド
平成15年	56.8%	43.2%	45.0%	55.0%	51.0%	49.0%
平成16年	69.4%	30.6%	61.5%	38.5%	65.3%	34.7%

(注)ブロードバンドは、ADSL、光ファイバー、CATVを意味。
ナローバンドは、一般公衆回線、ISDNを意味。

また、和歌山市内では、「光ファイバー」による接続を利用している企業が32.9%と和歌山市外の14.3%に比べ2倍以上高くなっており、インフラが整備されたところからより高速な手段に順次切り替えられているものと思われる。また、昨年より「光ファイバー」の和歌山市内における普及率が10.5ポイント増加していることから、切り替えのスピードもかなり早いことがうかがえる。

(平成16年調査)

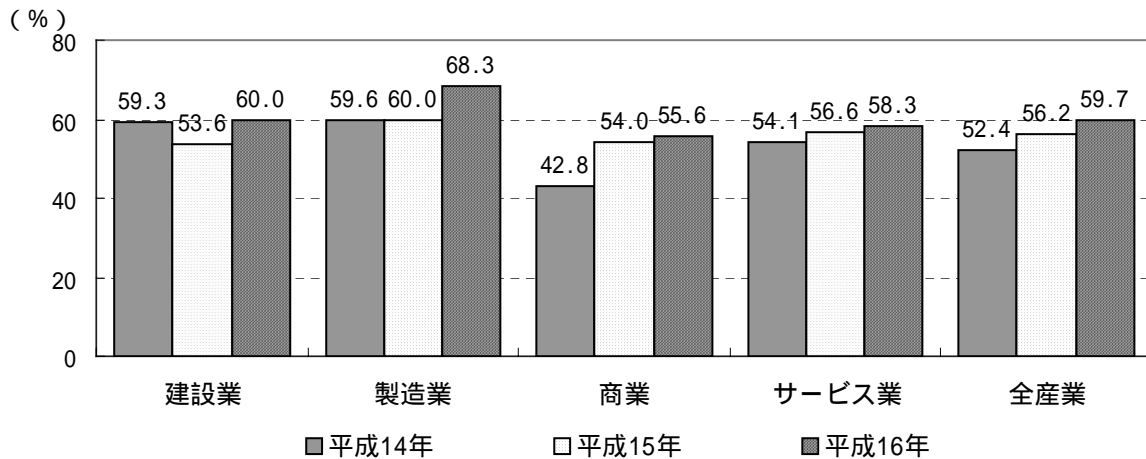
	一般 公衆回線	I S D N	A D S L	光 ファイバー	C A T V	モバイル	その他
和歌山市内	5.6%	24.8%	34.8%	32.9%	1.2%	0.0%	0.6%
和歌山市以外	11.2%	29.2%	49.1%	14.3%	1.2%	0.0%	0.0%

(平成15年調査)

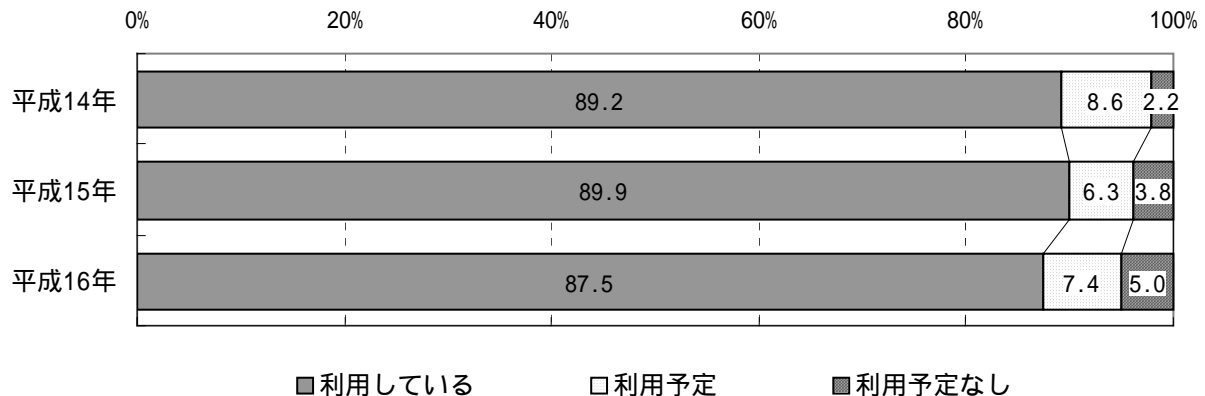
	一 般 公衆回線	I S D N	A D S L	光 ファイバー	C A T V	モバイル	その他
和歌山市内	10.6%	31.1%	31.1%	22.4%	1.2%	0.6%	3.1%
和歌山市以外	14.1%	40.9%	37.6%	5.4%	2.0%	0.0%	0.0%

電子メール利用

電子メールを利用している企業は59.7%と、前年比3.5ポイントの増加となった。産業別にみると、製造業が68.3%と約7割の企業が電子メールを利用していることとなり、他産業より利用率が高い。

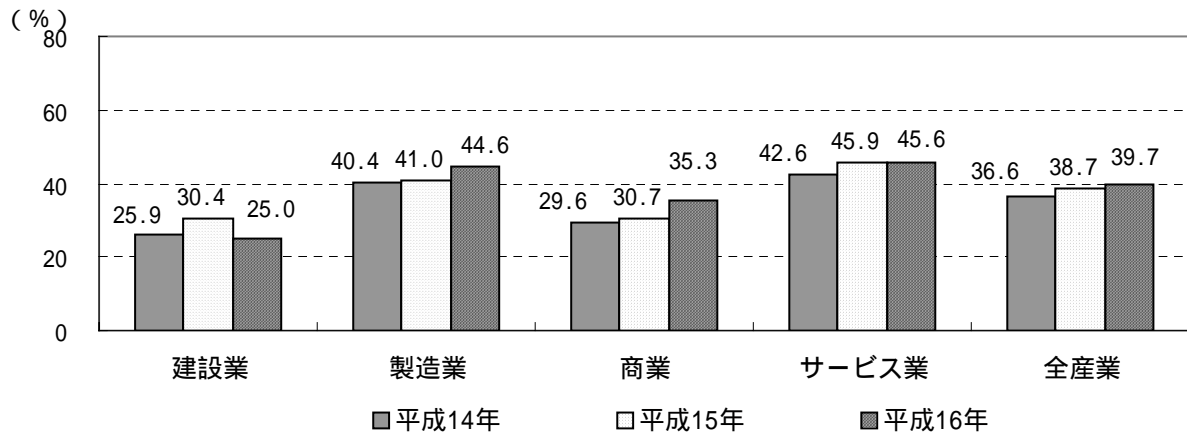


インターネット利用企業における電子メールの利用率は、この3年間とも約9割の企業が利用しており、携帯電話、FAX等とともに企業の通信手段のひとつとして定着してきているといえる。

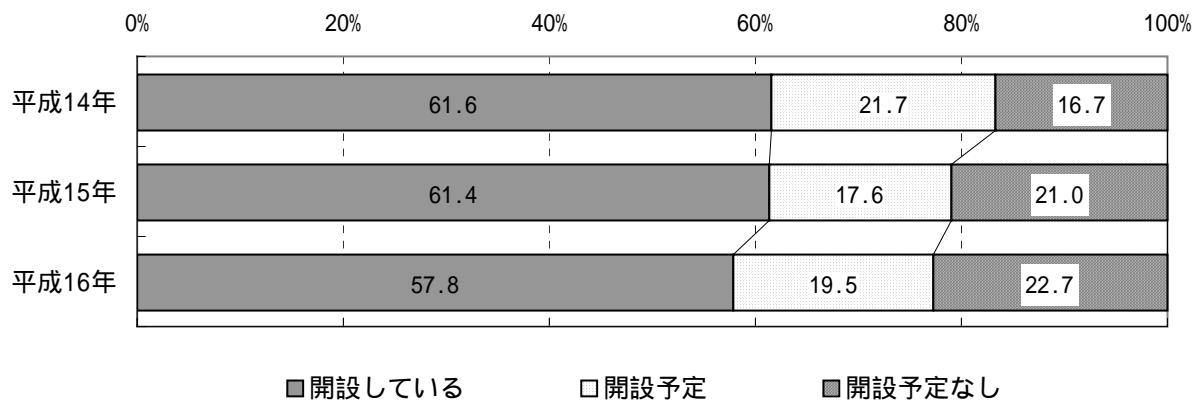


ホームページ開設

ホームページを開設している企業は39.7%と、前年比1.0ポイントの増加となった。産業別にみると、サービス業が45.6%、製造業が44.6%と約4割以上の企業がホームページを開設しており、商業は35.3%、建設業は25.0%の開設率となっている。

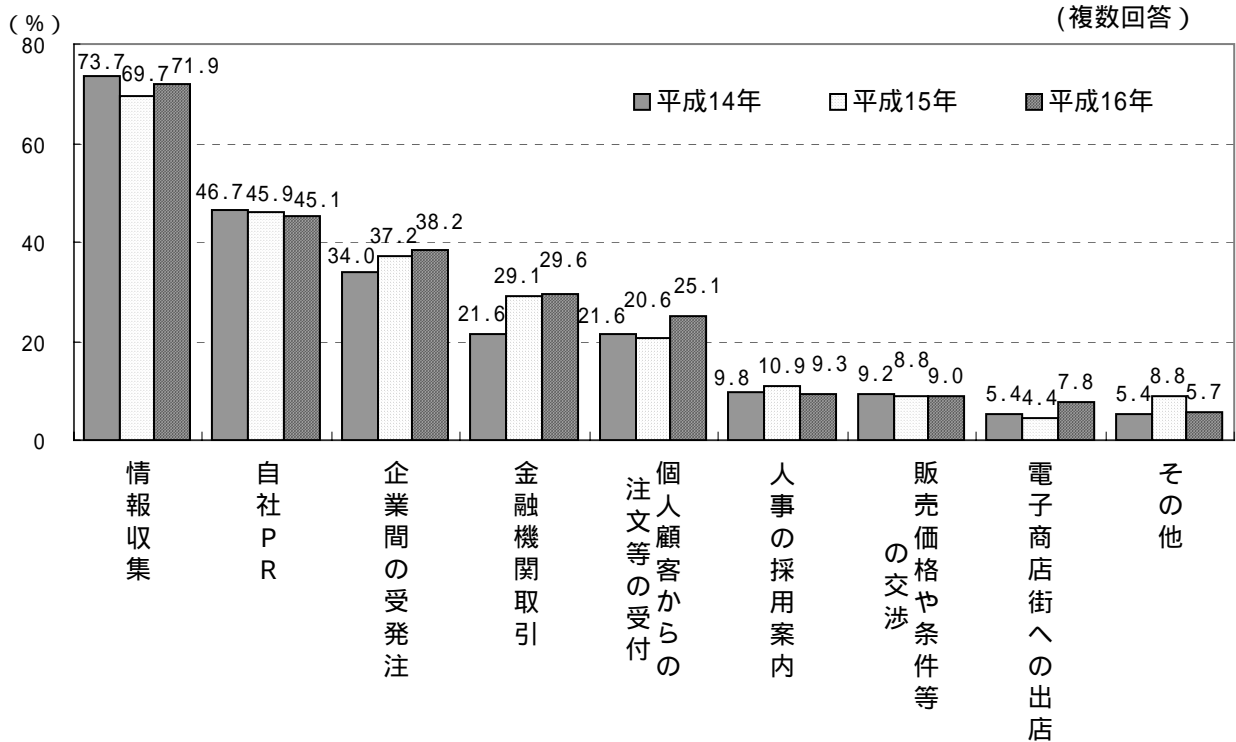


インターネット利用企業におけるホームページ開設率は、昨年より少し減少しており、また3年連続で「開設予定なし」とする企業が増加していることから、県内企業においてホームページの活用に対する選別が進みつつあるものと思われる。



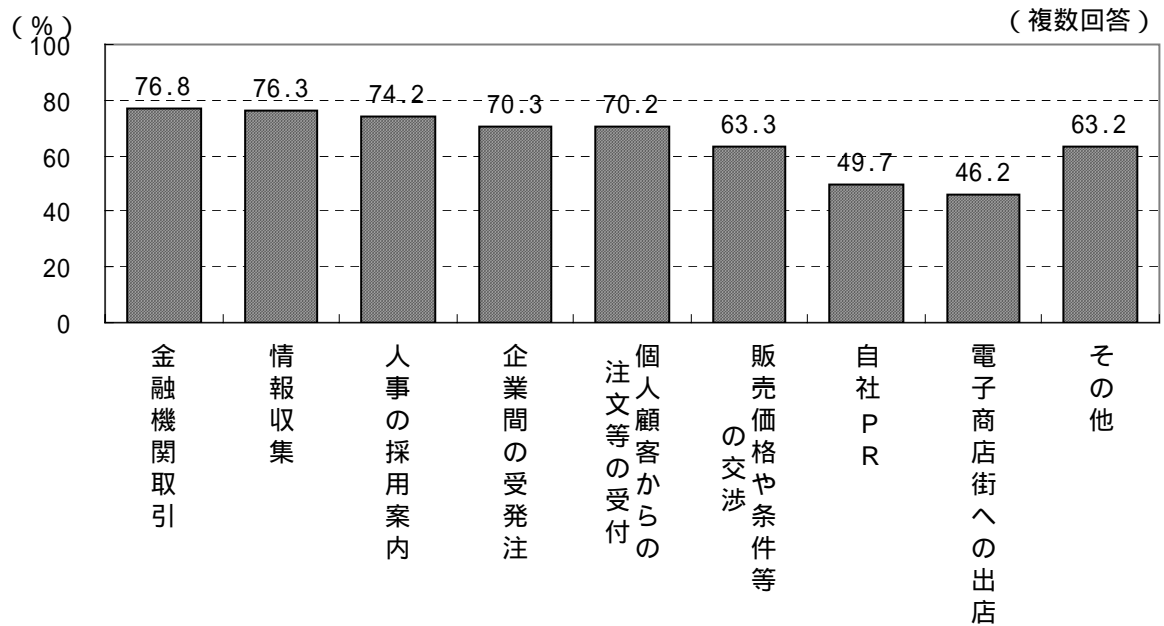
インターネット活用方法

インターネットを利用している企業の活用方法については、「情報収集」が2.2ポイント増加し最も多く71.9%を占めた。次いで、「自社PR」(45.1%)、「企業間の受発注」(38.2%)、「金融機関取引」(29.6%)、「個人顧客からの注文等の受付」(25.1%)が続いている。「人事の採用案内」、「販売価格や条件等の交渉」や「電子商店街への出店」については、依然として低調な結果となった。各項目の順位については、平成12年調査時より変動はないが、特に「個人顧客からの注文等の受付」の伸び率が大きくなっている。



インターネットの活用効果

活用企業におけるインターネットの効果を見ると、「金融機関取引」、「情報収集」、「人事の採用案内」、「企業間の受発注」、「個人顧客からの注文等の受付」の項目において、約7割の企業で効果がでているとしている。しかし、「自社PR」は、効果がでていないとする企業が5割を超える結果となっている。



おわりに

総務省が発行している情報通信白書平成 16 年版によれば、「我が国は、現在、継続的なインフラの高度化の中で、本格的な利用拡大を目指す段階に入りつつあるとともに、欧米に追いつく段階から世界を先導する段階に入りつつあると言える。」とある。

本県においても、昨年調査に比べインターネットの普及や企業活動への利用度が増してきていることがわかる。しかしながら、全国の利用状況からすると高い状況にあるとは言いがたい。和歌山県 I T 戦略の目標のひとつとして、平成 17 年までに電子商取引を行なう企業を概ね半数にまで増やすという項目があるが、今回の調査をみる限り達成には到っていない。今後県内の産業全体の活性化を図るためには、さらなる I T の活用が求められるのではないだろうか。